

し、上の方は一尺八寸位の幅に縫ひちひめてギヤダになし、表裏の帯にて狭みて縫ひます。第八、上の方即ち身頃に帯の表の方を縫ひつけ、其兩端は普通の紐を縫ふ様に縫ひて引返し、残り部分は、裏にて身頃に紵つけます。若しミシンを御使用になる御方はミシン縫ならば尙更結構で御座います

掃除の方法

醫學士 竹中 成憲

前世紀の終りに近き二十年に於て肺病は日本に著しき増加をなせり其原因は武藝時代に比して人民一船に體力減衰せると交通機關の發達に因り體力減せると共に病毒を散亂せるに因るべしと雖予は他に一大原因として室内に土足出入の洋風を思はざるべからずと信ず西風輸入してより西洋造起り之に出入する者は洋服と和服とを問はず靴を用ゆ西洋に在ては此風の古きがゆへに人々之に對する清潔法を心得居り土足とはいひながら頗る清潔な

り彼等が家に到らば美艷なる敷物のために靴のまゝ昇堂するを憚る事あるは洋行者の心肝に銘する所なるべし退て吾人の所謂西洋造を見るに多くは不潔千萬にして外國人に對しては赤面の至りなり是れ土足昇堂の風に慣れず昇堂に際し靴を掃除するの術を知らざるに因ると云はざるべからず吾人は又肺病の恐るべき事を識らず患者一回の痰中には幾億萬の微菌(肺病原因菌)のあるを思はず街路屋内の土間は勿論風呂屋の板の間に到る迄痰を吐く有様なるゆへに吾人の靴の裏には無数の肺病毒附着しあるものと思はざるべからず西洋にても此項洋婦の街路を引さ摺るの長さ婦人服を禁ずるの議ある程にして土足の恐るべきは明かなり先年の萬朝報紙上に左の事あり専門雜誌所載にあらざるを以て是れを以て直に適當なる引證となすは穩當ならざれども參考に資するの價値なきにあらず

婦人服の裾と微菌の數 英國の一雜誌は古き紙幣中には驚くべき多くの微菌を含み居れるが婦人服の裾には更に多くの微菌を含み居り或る

人の檢したる所に據れば裾の綉帶の一片に二萬六千八百個の黴菌を含み居り又帳六吋長五倍なる裾の二片には千〇六十七萬二千個の黴菌を含み居たりと而して婦人が裾を地に引摺る際裾に附着せずして地上に亂れ動き人の呼吸するもの若しくは裾に附着して家に歸りたる後振ひ落さるゝ黴菌は數限りも無きことなりと云ふ

獨逸の結核専門學者コルネット氏は空氣中の結核菌を檢せむと欲し菌重力の規則に擔り下方に沈澱すべきを考へ床板上の塵埃を檢査して果して結核菌を得たり尙ほ其生活力の有無を檢さむとして該菌を動物(メール、シユワイン)の腹膜下に注射し其動物に結核病の新生するを見て生活せる有力なる結核菌の塵中に在るを確めたり尤も西洋に在るは街路の塵埃中本菌を發見せる實例は今日迄は比較的少かりき

之に反して肺病者の室は肺病黴菌を以て充たされあるものと想像せざるべからざるが故に疊の上ですら濕りたる布片を以て拭ふを良とし普通の如く箒にて掃くは危險也若し掃く時は其後二時間以上

其室に入べからず、何となれば其室内の塵は凡二時間を經るにあらざれば床板上に沈澱せざるものなればなり故に掃除に就ては十分の注意をなさいれば黴菌吸入の結果既に肺病あるものに更に同一患者の肺の他の健康部に新なる肺病を起さしむる洵に恐るべき事ならずや退て土足昇堂許可の我所謂西洋造に於ける床板の掃除の様を見るに普通疊の上を掃くと少しも異らず塵風雲をなし咫尺を辨せざるものなり是豈官吏會社員等に肺病多きの理由にわらずや試に掃除時間以外に於て彼等公務中に於て彼等の室に在て太陽光線の射入するの所を見よ細塵雲煙をなし霧の如し此細塵を衛生學上(太陽塵)獨逸語(ゾンネン、スタウブ)と云ふ實に此塵は靴よりも來るものにして肺疾は勿論他の疾病(例て化膿)の原因となる所の小有機體(蟲)を含有す此室内に於て日々八時間の勤務を爲すもの而して其身體は神經衰弱的の骨川瘦吉的なるもの如何にして此病毒に打勝を得む學友東京府技師遠山椿吉君は前年より如何に結核菌が人跡到る所に瀰蔓せるかを證せ

ひと欲し學校停車場公廳官舎等に於て塵埃を採取
 し之が中に菌の有無を検せる事一百十四回而して
 此の中菌を發見せる事十回なりき先年岡田博士も
 同様な試験を爲せり豈寒心せざるを得むや
 鐵道には此項「列車給仕」なるものを置き乗客の用
 を辨するの外車室内の掃除を爲さしむ甚だ可なり
 といへども其掃くや塵埃雲を爲し給仕自身は勿論
 (給仕は呼吸器を用ゆべし)乗客をして無數の微菌
 を吸入せしむ客にして辨當にても用ゆるあらむ乎
 微菌を喰はざるべからず此塵埃を作る所以のもの
 は我國人の靴を使用するに當ても之を拭ふの道を
 知らざるも列車には下駄の儘入るを許しあると一
 般公德觀念の缺乏との三事に歸因す列車内は街路
 (我國の)と異ならざるなり故に我國列車は外國の
 者と日を同じて論ずべからず
 諸吾人は此塵埃を防ぐの方法を講ぜざるべからず
 而して其方法たるや甚だ簡單なるものなり即ち
 「濕潤法」を探れば足る予の獎勵する法は鋸屑(青
 森)のこくす「越後ふさ」のか「ひきぬか」の訛「東京
 「おがくす」に十分水を含ましめ之を床板上に散布

いて後掃く也此の法は敢て予の發案にわらず西洋
 にては夙に之を用ゐ我國にても食鹽又は茶渣を疊
 の上に散布して而して後掃く事あり、同一の考案
 なり予曾て青森能代間鐵道開通式に臨み能代の材
 木會社を參觀し當時同社に於て鋸屑を空しく放棄
 するを見て之が利用の途を考へ之に消毒藥を含有
 せしめて便所に臭氣止として用ふるの考あるに先
 ち之を上記掃除用に供せんとす願くは官衙會社學
 校列車等一般之を此の用に充てむ事予の深く望む
 所なり鋸屑は到る處にあり夏期に在ては氷屋の濕
 りて用を爲さざるものを用ゆるも亦可なり又此の
 頃左の事を新聞紙上に見たり果して實用となるや
 否や
 塵の立つを防ぐ油 此頃埃太利に塵留藥とも稱
 すべき一種の液濟を發明したる者あり一見棉花
 油に異らざる由なるが維納にての實驗に依るに
 此の油を年に二回床の上に散布すれば一週間一
 度位の掃除にて十分にして而かも掃除の間少し
 しも塵の立つことなく極めて清潔に室内を保ち
 得る由にして既に旅館劇場圖書館等の如き多數

群衆の雜踏する所に用ゐて奇効を奏したりと云

ふ

予の法は即日より何人も之を實行する事を得て價亦極めて廉なり

(右一篇は婦人衛生雜誌に載せられたるもの有益なりと思ふが故に轉載せり)

英語でレディー(貴婦人)と云ふと上流の人のことで著
 外に重いものを持たない人の様に思ふて居る人が
 随分多い。甚だしく虚榮心の婦人は殊に臺所などに顔
 を出さないのが貴婦人の貴婦人たる所の様に考へて御
 座る心得違ひもあるが一体此レディーと云ふ字の語源
 は如何と調べて見ると錦繡を纏ひ綺羅を飾る人を云ふ
 のでなくて爐邊に立ちて麵麴焼きをする女の事であ
 る。即ち麵麴焼きの出来ぬ女はレディーではないので
 ある。して見れば婦人にして厨房を自らせざるものは
 レディー即ち貴婦人と云ふことは出来ない譯だ。

アメリカの寺小屋

朝露生

三十二

わけもわからずに聲はりわけて、讀むは實語經に
 童子經、商賣往來に庭訓今川などと、手習は義經
 の腰越狀、算盤は塵功記、かくて一日の科業をす
 ましたのは、吾等の前代の學校、即ち寺小屋であ
 つたとき、ました。思ひさや、文明を街んこの國
 にて、長髮短袖のお師匠様となり、花籃の上に教
 壇をしつらひ、ギアスの火影に寺小屋を開くこと
 ならんとは、いでやその滑稽じみたる村夫子の
 舞臺を廻して御目にかけてせう。
 わが友と二人にて經營して居る教會、大森博士に
 賞賛せられさうな低き建もの、大地震を豫想して
 の借家ぞと云ひたひが、實はあるべきものゝわら
 なくにわりなくもこの塙末にひつこんで居るの
 です、友の斡旋にてこの一二年來會員も多くなり
 どうやらこうやら維持の方法も立つて居るとのこ
 と、桑港の下女は玉の輿ならぬ漁船に乗て、こ
 の、家に縁づきましたのは六月十日のたそがれ時